

大阪マイペンライ 第18回総会

移民労働者の居住地

2010. 4. 22
PLP 会館大会議室

フェイマノック保育園

ボボキー保育園

移民労働者のこどもたち

アジア保育教育交流推進実行委員会

大阪マイペンライ2010年度第18回総会議案

アジア保育教育交流推進実行委員会

第1号議案 活動の経過と方針

- 1 マイペンライのこれから
- 2 サワディ基金のとりくみ
- 3 来日招聘研修のとりくみ
- 4 スタディツアーのとりくみ
- 5 こどもスタディツアーのとりくみ
- 6 絵本プロジェクトのとりくみ
- 7 アジアのNGO団体などとの連携したとりくみ
- 8 会員拡大のとりくみ、財政確立のとりくみ
- 9 15周年記念事業に続く事業の継続について
- 10 その他

第2号議案 2009年度決算と2010年度予算案

第3号議案 2010年度役員体制案について

第4号議案 「国際ボランティア貯金」配分金事業にかかる特別会計の設置について

その他

記念講演の部

神崎愛子氏（シャンティ国際ボランティア会東京事務所）

「ミャンマー（ビルマ）難民キャンプのこれまでとこれから（仮題）」

2009年度活動日誌

2009年

- 5月2日（土）～8日（金）学生寮・保育園改修事業現地設計調査（バンコク、ターソンヤン郡）
- 5月15日（金） 2009年度第17回総会
- 5月27日（水） 招聘研修打ち合わせ会議
- 6月17日（水） 招聘研修打ち合わせ会議
- 6月23日（火） 国際ボランティア貯金寄附金助成事業打ち合わせ会議
- 7月4日（土）～18日（土）招聘研修
- 7月5日（日） 招聘研修オリエンテーション
- 7月6日（月）～8日（水）招聘研修受け入れ（2カ所）
- 7月8日（水）～10日（金）招聘研修受け入れ（2カ所）
- 7月13日（月）～15日（水）招聘研修受け入れ（2カ所）
- 7月15日（水）～16日（木）招聘研修表敬訪問
- 7月16日（木） 多文化共生セミナー
- 8月31日（月）～9月6日（日）「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第1回研修事業（バンコク）
- 9月7日（月）～9日（水）「平成21年度国際ボランティア貯金」寄付金配分金の新たな申請のための事前調査
- 9月28日（月） 09年度第1回実行委員会
報告事項（第17回総会、学生寮・保育園事業改修現地調査、招聘研修、国際ボランティア貯金事業事前調査、こどもツアーの中止）
協議事項（10年度「国際ボランティア貯金配分金」への新たな申請について、「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第2回研修事業、モニタリングツアー・スタディツアーの実施について）
- 9月30日（水） 「国際ボランティア貯金寄附金事業」へ新たな事業を申請
- 12月13日（日）～20日（日） スタディツアー・モニタリングツアー（西タイ、カンボジア）

2010年

- 1月21日（木） スタディツアー総括会議
- 2月10日（水） 研修事業打ち合わせ会議
- 2月17日（水）～25日（木） 「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第2回研修事業（ターソンヤン郡）
- 2月19日（金） 郵便貯金・簡易生命保険管理機構による援助事業の現地訪問

2月25日(木) 第2回実行委員会

報告事項(平成21年度「国際ボランティア貯金」配分金の寄付金の配分金申請について、08年度「国際ボランティア貯金」寄付金配分金事業の完了報告書について、スタディツアー・モニタリングツアー、「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第2回研修事業、郵便貯金・簡易生命保険管理機構による援助事業の現地訪問ほか、

協議事項(役員の交替について、「国際ボランティア貯金」配分金助成事業の新たな申請への対応について、2010年度年間事業計画について、第18回総会について)

3月11日(木) 絵本ボランティアについてのSVA東京事務所との話し合い

4月14日(水) 09年度第3回実行委員会

報告事項(09年度「国際ボランティア貯金」配分金助成事業の完了報告について、絵本活動にかかるとSVA東京事務所との話し合い、「国際ボランティア貯金」配分金助成事業の新たな申請について)

協議事項(2010年度第18回総会について、2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の具体化について、2010招聘研修について、子どもツアーの募集について)

とりくみ予定

4月22日(木) 第18回総会

7月10日(土)～24日(土) 10年度招聘研修

7月25日(日)午前出発～8月1日(日)早朝帰国 子どもツアー

第1号議案 活動の経過と方針

1 大阪マイペンライのこれまでとこれから

大阪マイペンライは1993年4月に結成されて以来、部落解放同盟大阪府連合会、大阪府教職員組合、自治労大阪府本部の3組織を中心としながら、多くの団体・グループ・個人の皆さんの支えをいただき、取り組みを進めてきました。また、日本においてはシャンティ国際ボランティア会(SVA)、タイ・カンボジア・ラオスではドゥアン・プラティープ財団(DPF)やシーカ・アジア財団の協力・連携のもと、活動を進めています。

大阪マイペンライ結成の契機は、1990年の国際識字年でした。「国際化」が叫ばれ、「日本の国際貢献」「アジアの中の日本(と日本人)」が大きなテーマになっている中、私たちは、それぞれの団体が反差別・人権擁護の立場で国際交流を進めてきましたが、国際識字年を期に活発化したアジア太平洋各地の識字運動・民衆教育運動との交流が拡大し、草の根の人権教育関係者のネットワークづくりが進められていることに注目しました。そこで私たちは、大阪の部落解放運動や同和保育・教育の経験を積極的に紹介し、タイ・インドシナ地域をはじめとするアジアの民衆教育運動との相互交流・支援を活発化させることを目的に、結成しました。

今、地球上には約10億人の成人識字者(読み書きの機会を奪われた人)とともに、1億人の学校へ行けない子どもたちが存在しています。その大半(4分の3)は、タイ・インドシナ地域をはじめとするアジアの国・地域です。くわえて年間1200万人もの5才未満の幼い子どもたちが、風邪や下痢やはしかや栄養不良、飢餓などで死んでいます。アジアのスラムや農村の子どもたちは、貧困と差別の中で生きる権利すらおびやかされているのです。国連の子どもの権利条約を具体化し、アジアの各地に学校や保育所とともに地域の教育・生活・福祉の環境を整備することが緊急の課題であり、この面でこそ日本の「国際貢献」が求められています。

アジアの子どもたちがおかれている状況をふまえつつ、私たちは、支援する側、される側という一方的なものではなく、一人一人お互いの顔が見える関係、お互いに学びあい相互に助け高めあえる関係として、この間の活動を土台に、より一層の広がりが高まりをめざし、今後の活動を進めていきます。

大阪マイペンライはこれまで、人材育成を目的とした「サワディ基金(奨学金)」の取り組み、結成以来、継続して取り組んできた相互交流プロジェクト(招聘研修、スタディツアー)、翻訳絵本の提供を目的とし、活動が着実に広がっている絵本プロジェクト、5周年事業「保育・教育セミナー」10周年事業「障害児保育・障害者の生活から学ぶワークショップ」、「自立をめざすアジアの子どもたちの国際交流事業」などに取り組み、その成果とネットワークは広がってきています。

2008年には結成15周年を記念して、「国際ボランティア貯金」寄附金配分の助成を得て「タイ研修事業」をシーカー・アジア財団とともに実施しましたが、この中で、タイのスラムや農村の現状を目の当たりに

し、新たなニーズを実感しました。そこで、記念事業の継続事業として、2009年には配分金助成で、「少数民族の初等教育整備のための学生寮建設及び保育園の改修〔タイ〕」と「スラム地区、少数民族居住地区の保育園・図書館スタッフのスキルアップ研修の実施及び保育・幼児教育センターの設置〔タイ〕」を実施し、2010年度には「スラム地区の保育園での公開保育、保育園・図書館スタッフ研修及び住民の意志貴向上目的の講習会の実施（タイ・バンコク）」の事業について助成をいただき、具体化をめざしています。

今後もシーカー・アジア財団との関係を密にし、現地のニーズに即した、お互いの顔の見える活動の推進に向けて努力していきます。

2 サワディ基金のとりくみ

(1) とりくみの経過

サワディ基金は1993年に設立し、94年に支給を開始し、本格的にスタートしました。この基金は、タイのNGOの職員で農村やスラムの保育所・幼稚園で働きながら、夜間の専門学校や大学で学んで保育士・教師などの資格取得を目指す若者たちに対して、年額1万バーツ（約3万円）を支給することでスタートしました。

これまでに、94年に70万円、96年に50万円、98年に50万円、2001年に50万円、2003年に200万円を奨学資金として現地のNGOに送り、運用を委託しました。現時点で、基金は現地からの報告によると、451289バーツ（約1579000円）残っています。奨学生が生き生きと活動し、勉学の励んでいる姿を受け止め、この活動を継続していくことの重要性を確認しています。

(2) 財源の確保

この奨学金の財源は、団体会員や個人会員からのサワディ基金に寄せられた寄付や、アジアの農村やスラムの人々の手作りのクラフト販売で得た差益を積み立てて、充当しています。これらの資金を、タイのNGOであるSVA・DPFに運用を委託し、給付しています。引き続き、会員へ協力を呼びかけ、寄付を受け付けるとともに、基金が一定額に達していることから、クラフト販売の差益については、大阪マイペンライ活動全体へ運営資金とします。

(3) 奨学金の給付方式について

これまで多くの方からサワディ基金に協力をいただき、今後も奨学金の「給付」と言う形によって有効に活用します。

(4) 奨学生の選考など基金の運用について

奨学生の選考、奨学資金の運用などについてはSVA（シャンティ国際ボランティア会）・シーカ・アジア財団（SAF）・DPF（ドゥアン・プラティープ財団）の協力を得ながら、運用規定に基づいて給付することとします。

(5) サワディ基金の給付の状況（略）

(6) サワディ基金の今後の活用について

現在の基金は現地のNGOスタッフへの奨学金として支給していますが、その運用状況を把握し、今後の有効活用のための検討を進めることとします。

15周年記念事業に続く「国際ボランティア貯金」配分金事業を進めるにあたって、その資金に充当するためサワディ基金を一時取りくずすこととします。

3. 招聘研修の経過と取り組み

(1) 第17回招聘研修は、7月4日（土）～18日（土）の2週間、タイ・カンボジアからのゲストを招き実施され、府内各地で交流が展開されました。ゲストは4名で、SVAカンボジア事務所のパルさん、SVAタイランドの松尾久美さんが通訳を担当しました。

カンボジア、タイから事前に大阪での研修希望が届き、その期待に応えようと受入れ組織が集まったの調整会議を開き、受入れ組織内においても細やかな調整をいただき、楽しい交流が展開されました。

① 受け入れいただいた団体

自治労大阪府本部四条畷市職員労働組合（カンボジア）

自治労大阪府本部枚方市共闘（カンボジア）

自治労大阪府本部大阪市職員労働組合民生支部（タイ）

大阪府教組豊能郡教職員組合（タイ）

大阪府教組吹田市教職員組合（カンボジア）

部落解放同盟大阪府連合会沢良宜支部（カンボジア）

部落解放同盟大阪府連合会和泉支部（タイ）

② 2009年大阪マイペンライ招聘ゲストプロフィールと研修希望について

	タ	イ	カンボジア
--	---	---	-------

名前 職場・ 業務内容	シーカー・アジア財 団 (SAF) アリッサ・ウッパ シー (ニックネー ム:ギップ) 女性 担当:図書館事業研 修・教材開発 希望する研修内容:	シーカー・アジア財団 (SAF) ピヤマート・ナークト ン (ニックネーム:ジ ュ) 女性 担当:奨学金事業 同行通訳:松尾久美 希望する研修希望:	シャンティ国際ボラン ティア会カンボジア 事務所 (SVA) ムール・ケタニヨム 男性 担当:図書館事業課イ ンストラクター	シャンティ国際ボラン ティア会カンボジア事 務所 (SVA) ホーン・ソティロアッ ト 女性 担当:図書館事業課イン ストラクター
通訳・同 行	松尾久美さん (SVAタイランド)		チェア・パルさん (SVAカンボジア・男性) 国際課 アシスタントコーディネーター	

研修希望

《タイ》

- 1 保育・教育現場での手作り教材を活用した子どもたちの遊びを体験したい
 - ・ 手作りおもちゃなどの作り方、使われ方、学びの方法
 - ・ 保育者と意見交換したい
- 2 図書館活動の実際を体験したい
 - ・ 図書館の広報活動
 - ・ 絵本読み語りの実際
 - ・ 図書館スタッフとの意見交換
- 3 保育・教育現場におけるの保護者との連携方法について
- 4 保育者・教育者、保護者を対象とした研修のニーズ把握、企画、広報活動について
- 5 こどもの宿泊施設を見学したい
- 6 日本の奨学金制度、または学費免除制度などの教育支援について
- 7 日本の保育・教育の歴史と現状について
- 8 部落差別などの差別問題について

《カンボジア》

- 1 図書館運営
 - ① 図書館基準・規模は
 - ② 図書館事業について
 - ③ 図書館の教材作成や広報活動
 - ④ 図書館活動の地域との協働活動など 移動図書館
- 2 絵本読み語り活動
 - ① 読み語りの工夫
 - ② 絵本使い方
 - ③ 手作り絵本
 - ④ エプロンシアターの作り方
- 3 保育所・幼稚園・学校で子どもたちと交流したい
子どもが楽しめる遊び・ゲームを体験したい
障がい児との共生保育・教育を学びたい
- 4 社会にある差別問題、こども同士の差別的見方についても学びたい

2009年(第17回)大阪マイペンライ招聘研修スケジュール 09年7月4日(土)～18日(土)
2009年7月4日(土)～18日(土)

	カンボジア	タイ
7月 日 土	7:30 TG627 関西空港着 (23:59BKK 発) 12:00～昼食・移動 13:00 「第5回 大阪発 保育・子育てを考える集い」 ～16:00 いきいきエンジグセンター 実習室 (大阪市北区菅原町10番25号) 19時～中島宅 歓迎会 (中島美智子宅:淀川区宮原5丁目4-16-905 携帯090-3845-8242)	
日	8時 出発 ATC「絵本展 DANDAN」 :松尾 12時 移動・昼食 14時 オリエンテーション (PLP 会館 4F) 18時 終了 夕食	中島宅 ホームステイ
6日 月	大阪府教組吹田市教組 9:00 地下鉄「東三国」6号出口付近迎え 午前 大阪府立国際児童文学館見学 午後 民族学博物館見学 万博公園ソラード ホームステイ 高槻 茶道体験	大阪府教組豊能郡教組 10:00 地下鉄「東三国」6号出口付近迎え 11:00 岐尼小学校 小学生との交流会 12:30 昼食(給食交流) 13:50 全校生と交流会 14:40 能勢町フィールドワーク (棚田、寺、など) 18:00 歓迎会

		20:00 ホームステイ
7日 火	午前 吹田市立東山田幼稚園 (プール活動を見学) 吹田市立千里第2小学校(5年生)訪問 給食 読書支援の先生と交流 午後 市立佐井寺千里図書館見学 図書館教育交流 移動図書館見学を今調整中 ホテル宿泊	8:00 東郷小学校へ 8:30 東郷小学校(全校生徒で60名くらい) ・地域ボランティアの方による子どもたちへの読み聞かせの見学 ・地域ボランティアの方たちとの懇談会 10:00 東郷小学校出発 送迎担当:東郷小学校 10:20 田尻小学校到着(全校生徒で30名くらい) 10:40 小学生との交流(各学年と) 12:40 給食(田尻小学校で給食交流) 15:30 田尻小学校出発 16:30 るり溪温泉(夕食・宿泊)
8日 水	箕面の滝・勝尾寺 昼食	9:00 出発 10:00 豊能町立図書館見学 職員交流 11:30 昼食
自治労大阪府本部・大阪市職民生支部 吹田市教組・豊能郡教組から 14:00 大阪市立児童院(情緒障害児短期治療施設) 見学・交流 17:00 手作りおもちゃ実践交流会(民生支部・老松事務所) イーストホテル宿泊		
9日 木	自治労大阪府本部・四條畷市職 8:00 出発(電車にて) 9:30 四條畷市職員組合表敬訪問 四條畷市市長表敬訪問 10:00 南野西保育所見学 12:00 昼食 14:30 図書館見学 田原図書館 楠文庫 18:30 四條畷市職と枚方市共闘と合同夕食交流会 (枚方駅周辺) 21:00 ホームステイ	自治労大阪府本部・大阪市職民生支部 8:00 出発 10:30 大阪市立阿武山学園 (高槻市・児童自立支援施設) 18:00 夕食 イーストホテル
10日 金	自治労大阪府本部・枚方市労連 9:00 出発 9:30 枚方市教育委員会表敬訪問 10:00 中央図書館見学 村野分室 枚方市共闘労働組合表敬訪問 12:00 昼食 14:00 府本部へ移動	9:00 出発 10:00 わかくさ保育園 12:00 昼食 釜ヶ崎フィールドワーク 府本部へ移動
14:00 すぎ:自治労大阪府本部表敬訪問 休憩(研修のまとめを) 18:30 自治労大阪府本部 保育部会 交流会 現地報告なし(マイペンライ共生セミナーで学習) 見学・交流の感想や遊びの交換 21:00 ころ ホームステイ先		
11日 土	マイペンライ茨木 11:00 絵本作業などで交流	ホームステイ
12日 日	京都観光 自治労大阪府本部大阪市従民生支部 ホームステイ	
13日 月	部落解放同盟大阪府連沢良宜支部 9:00 176号線庄内駅まえに迎え 10:30 茨木市立中央図書館着 施設見学と図書館活動の紹介 12:30 昼食 ほっとスル 13:30 NPO法人はっちぼっち(ほっとメイト)見学交流 お話ボランティアぽてとも合流 16:30 ホームステイ先へ移動 休憩 翌日のカンボジア料理の買物 18:30 沢良宜支部歓迎会(あいセンター) ホームステイ先へ	部落解放同盟大阪府連和泉支部 176号線庄内駅前に迎え 午後 幸地区フィールドワーク 青少年センター訪問 女性・青年活動者と夕食交流会 ホームステイ調整中

14日 火	9:00 出発 9:30 茨木市立沢良宜保育所訪問 子どもとの交流・取り組みを体験 11:30 あいセンターで昼食 みんなで昼食会 14:00 茨木市立葦原小学校 交流 15:30 読み聞かせボランティアと交流 16:30 あいセンターへ移動 休憩 18:30 夕食会 (多国籍料理の店) 20:30 ホテルへ移動	午前 幸小学校訪問 (1年生授業参加) 人権文化センターにじのとしょかん視察 午後 幸保育園訪問 (見学・意見交流) ガラス細工体験 (ガラス工房邦) ホームステイ調整中
15日 水	ホテル出発 沢良宜地域内フィールドワーク 12:00 昼食 16:00 大阪市役所へ	午前 ガラス棒生地工場見学 (佐竹ガラス) 14:00~15:00 にじのとしょかん企画 16:00 識字学級訪問 16:00 大阪市役所へ
16:30 大阪市表敬訪問 18:00 ワシントンプラザホテル泊		
16日 木	9:00 大阪府表敬訪問 10:30 大阪府教組表敬訪問 セミナー準備 (老松事務所) 18:30~ 多文化共生セミナー PLP会館 5階会議室	
17日 金	フリー 18:30~お別れ会 「海心丸」天六店	
18日 土	カンボジアスタッフ帰国	松尾スタッフに同行して大阪滞在 20日(月) 帰国予定

(2) 2010 招聘研修の実施について

受け入れ組織の皆さんの多大な協力を得て、引き続き実施すべくシャンティ国際ボランティア会と日程および招聘先等の調整を行っています。今年度については、諸日程の関係で変更があり得ることを前提ですが、7月10日(土)来日、7月24日(土)帰国までの交流研修事業として進める予定です。招聘先はタイおよびラオスで調整中です。

受け入れ先については、自治労大阪府本部、大阪府教祖および部落解放同盟大阪府連に要請しています。

4. スタディツアーについて

(1) 09スタディツアーの実施について

「国際ボランティア貯金」配分金事業の「学生寮建設及び保育園改修事業」のモニタリングツアーと平行して実施しました。

日程 2009年12月13日~20日

行き先 西タイ (ターソンヤン郡)、カンボジア、バンコク

参加者 10名 (西タイコース 5名、カンボジアコース 5名)

第1回学習会 11月28日

第2回学習会 12月8日

2009スタディツアー全体日程

日	西タイ		カンボジア	
12月	時間	内 容	時間	内 容
13日 (日)	22:00	関西空港 4階Dカウンター付近集合		
14日 (月)	00:30	関西空港発 TG673		
	05:00	バンコク着		
	05:30	バンコク発 自動車移動	7:45	バンコク発 TG580
	12:00	メーソット着 ホテルチェックイン 昼食	9:00	プノンペン着
	13:30	活動紹介、ビルマ移民労働者の学校視察	午前	プノンペン着
	18:00	夕食 センタラー・ホテル泊	午後	市内観光(PIT手配)
15日 (火)	7:00	ターソンヤン郡に向け出発	午前	SVA事務所・スラム地区訪問
	10:00	ターソンヤン村小中学校で学生寮視察・寮生と交流など		シエムリアップ州へ移動
	18:00	ゲストハウス着		(シエムリアップ州泊)

		夕食・ワサン・ゲストハウス泊		
16日 (水)	7:00 10:00 14:30 18:30	出発 バーンメーラムン小中高校視察 ボボキー保育園視察、村人・保育士と 意見交換 ゲストハウス着、 夕食・ワサン・ゲストハウス泊	午前	SVA支援学校訪問 移動図書館視察、交流、子どもたち のお宅訪問、村散策
17日 (木)	7:00 8:30 10:30 13:00 20:00	出発 ファイマノック保育園視察、村人・保 育士と意見交換 地域行政事務所訪問、意見交換 昼食後ターソンヤン郡を自動車で出発 バンコク着 カンボジアグループと合流	午前 13:25 14:20	アンコールワット遺跡群観光 (PIT手配) シェムリアップ発 PG906 バンコク着 タイグループと合流
		アリストン・ホテル泊		
18日 (金)	9:00 18:00	ホテル発 チュアパーンスラム図書館視察 スアンプルースラム再開発地区視察、保育園・図書館視察、クッキングセンター建築視察 センターにて昼食 クロントイ事務到着、視察・事業説明、まとめの会議 夕食 アリストン・ホテル泊		
19日 (土)	18:00 20:00 23:00	フリー（オプションで観光あり） ツアー団で夕食 夕食後空港に向け出発 バンコク発 TG622	機中泊	
20日 (日)	06:10	関西空港着 解散		

(2) 2010年度の取り組み

SVAと訪問先・日程を検討しながら、2010年度スタディツアーについて引き続き取り組むこととする。

5 こどもスタディツアーのとりくみ

(1) 2009年度の取り組み

北タイへのスタディツアーの募集を行いました。小人数の募集となり中止しました。

(2) 2010年度の取り組み

SVAと連携し、夏休みの時期に取り組むこととします。

日程 7月25日(日)午前出発～8月1日(日)早朝帰国

6 絵本プロジェクトのとりくみ

定着した5ヶ所の拠点での翻訳絵本作りでは、ボランティアの参加者の数は決して多くありませんが着実に、そして楽しんで、作業を続けています。また、参加者の中からスタディツアーへ参加されたり、逆にツアー参加を機に絵本作りにこられたりと、いずれも子どもたちに絵本を！という気持ちをいただいていると思います。このように、多くの皆様のご協力を得て進めている絵本プロジェクトの成果は確実に現地に届いています。

自治労府本部でのボランティアによる作業をはじめ、5ヶ所の拠点での翻訳絵本作り、多くのボランティアによって作られた翻訳絵本、国際理解教育の一環として取り組まれている学校での翻訳絵本作りや市民講座などによって作られた翻訳絵本は、こどもスタディツアーやスタディーツアーのメンバーがカンボジア・タイを訪れ、現地の様子を肌で感じ、翻訳絵本を自らの手で届けてきました。

多くの皆様のご協力を得て進めている絵本プロジェクトの成果は確実に現地に届いています。今後も絵本を通じて人と人がつながり、子どもたちにとっての本当の支援となるよう活動を進めていきたいと思っています。

絵本プロジェクトについては、これまでシャンティ国際ボランティア会（SVA）やタイのシーカーアジア財団の協力を得て進めてきました。この度、SVAと「絵本を届ける運動」の今後のありかたについて3月11日に大阪で話し合いを行いました。主な内容は①絵本の翻訳シールの貼り誤りや誤訳への対応、②翻訳にかかわる著作権問題への対応、③「絵本を届ける運動」についてのSVAからの要請です。この内容について、大阪マイペンライトとしては、ともに取り組みを進めているボランティアグループと相談しながら検討するとなりました。

〔ボランティアグループ〕

自治労大阪府本部（大阪マイペンライ） 毎月第3木曜日 P L P 会館
（自治労大阪市従業員労働組合民生支部、一般市民、高校生などの皆さんが参加しています）
「アンコー会」（浪速絵本グループ）第2金曜日午後6時 谷町九丁目アベビル
マイペンライ茨木 カンボジアに絵本を送る富田林連絡会
マイペンライ兵庫 ポップあすか（飛鳥地区で絵本を作る会）
自治労大阪市職員労働組合北区役所支部 その他 たくさんのボランティアの方々による

7 アジアのNGO団体などとの連携したとりくみ

大阪マイペンライは日本やアジアのさまざまなNGO団体に協力いただき、また、連携して取り組みを進めてきました。これからも、ともに大阪とアジアの交流が深まることをめざして取り組みを進めます。

8 会員拡大のとりくみ、財政確立のとりくみ

（1）会員の状況

大阪マイペンライは解放同盟大阪府連・大阪府教組・自治労大阪の組織的協力を得つつ、団体会員、個人会員の協力、自主的な参加によって15年間の取り組みを進めてきました。また、財政的にもこれらの組織・個人に支えられて活動を進めることができました。今後も、組織的な協力を得つつ、個人の自主的な参加という、大阪マイペンライ的な活動スタイルを維持しながら、進めていくこととします。

会の現状としては、2010年3月現在の個人会員は115名、団体会員は23団体と、個人会員の減収となっており、会員拡大の取り組みが必要となっています。

（2）財政

繰越金と預り金を除いた収入に対して、会費の占める割合は28%、セミナー等への参加費が12%、クラフト売上が24%、寄附金が35%となっています。今年度は「国際ボランティア貯金」事業の経費を補うため寄附をいただいた経緯があり、寄附の割合が高くなっています。新年度も事業の継続を予定しており、予算不足が予想されます。

会費は安定した財政基盤であり、会員の拡大を通じて、財政的な支えの拡充を図っていかねばなりません。2003年度からクラフト売上金を一般収入に繰り入れることとしましたので、さまざまな機会を通じてクラフト販売による収入の増をめざします。

（3）組織基盤の確立

引き続き3団体をはじめとした団体会員との連携、100名を超える個人会員との連携を強め、会の基盤の充実に努めることとします。その延長線上に、特定非営利法人（NPO）化に向けた準備を進めます。

（4）通信の発行

第73号（09. 6. 7）第74号（09. 7. 1）第75号（09. 7. 20）第76号（09. 10. 10）第77号（10. 3. 25）

（5）クラフトの販売

モン・カレンダーを各団体や会員の皆さんの協力を得て完売することが出来ました。また、引き続きタイ・カンボジアのクラフトを販売しています。

9 組織の今後のあり方について

（1）事務所（住所）の移転について

当会が発足して以来、事務所の所在住所については「部落解放同盟大阪府連内」としていましたが、同府連の移転に伴い、同府連の了解を得て、所在住所についても下記のとおり変更することとします。

旧住所 556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12 大阪人権センター内 部落解放同盟大阪府連

新住所 552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル 部落解放同盟大阪府連

電話 06-6581-8535 FAX 06-6581-8536

なお、日常的な事務局機能や事務作業は、事務局長宅及び大阪市職員労働組合民生支部事務所において行う

こととします。

(2) 組織の「特定非営利活動法人」への移行も含む今後のあり方の検討について

当会は発足以来、任意団体として活動してきましたが、発足17年を経て社会的な認知を得ており、今後、特定非営利活動法人（NPO）へ組織を移行も含め、組織のあり方について検討することとします。

10 15周年記念事業と引き続く「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の経過と総括、並びに継続した事業の実施について

(1) 15周年記念 2008年度国際ボランティア貯金に係る寄付金による援助事業の報告

1 援助事業名（対象国・地域）

保育士、図書館スタッフのスキルアップ研修、保育園への図書コーナー設置並びに保育園・図書館へ図書・教材の提供
(タイ王国・バンコク、ターソンヤン郡)

2 配分額

配分額 4,856千円

内訳 受領額 4,829,000円 (既返還額除く)

未受領額 27,000円

返還予定額 42,698円

3 配分事業の総費用額等

総費用額 6,904,213円

内訳 自己資金額 (総費用額 - (受領額 - 返還予定額)) 2,117,911円

自己資金額の割合 (自己資金額 ÷ 総費用額 × 100) 30.7%

4 援助事業の実施状況及び効果等

(1) 機器・教材の配備状況

① 名称 パソコン

配備個数 1セット

配備場所 タイ バンコク シーカーアジア財団事務所

使用目的 保育園・図書館スタッフを対象とした研修事業

所有者・管理者 シーカーアジア財団事務局長

② 名称 音響機器

配備個数 1セット

配備場所 タイ バンコク シーカーアジア財団事務所

使用目的 保育園・図書館スタッフを対象とした研修事業

所有者・管理者 シーカーアジア財団事務局長

③ 名称 絵本 (絵本箱、袋)

配備個数 絵本箱 (絵本40冊) 15セット、絵本袋 (絵本20冊) 40セット

絵本総数 1400冊

配備場所 タイ・ターク県ターソンヤン郡の保育園・小学校 計55カ所

使用目的 保育園や図書館での子どもへの絵本の提供、スタッフによる絵本の読み聞かせ

所有者・管理者 保育園等の施設長

(2) 図書コーナーの設置状況

名称: 図書コーナー

設置場所: バンコク 2ヶ所 (クロントイ寺図書コーナー、スワンオイ地区保育園図書コーナー)

設備の内容: バンコク都

クロントイ寺図書コーナー 709冊

スワンオイ地区保育園図書コーナー 625冊

ターソンヤン郡

チュムチョンバーンターソンヤン小中学校 748冊

設置完了日: 2009年3月31日

今後の運営: クロントイ寺図書コーナー 住民委員会が管理運営

スワンオイ地区保育園図書コーナー 保育園園長が管理運営

ターソンヤン郡

チュムチョンバーンターソンヤン小中学校 校長が責任者として管理運営

(3) 研修の開催状況

① 第1回バンコク研修事業

派遣スタッフ

講師 加藤啓子 氏 (絵本いろいろの会主宰、出版社絵本普及員)、徳永和美 氏 (あそびのネットワーク、保育士・幼稚園教諭・家庭相談員) 合田由紀子 氏 (あそびのネットワーク、保育士・図書館司書)

スタッフ 松尾純代 (大阪マイペンライ、保育士)

第1回打ち合わせ会議 3月24日(月) 第2回打ち合わせ会議 4月25日(金) 午後

バンコク研修事業の日程

5月19日(月) 深夜集合 5月20日 出発

5月20日 現地視察・打ち合わせ・研修準備

5月21日～22日 スタッフ研修 5月23日～25日 全体研修・総括会議

5月26日(月) 早朝帰国 (松尾純代氏は27日帰国)

②第2回ターソンヤン郡研修事業

打ち合わせ会議 7月19日(土) 9月13日(土)

講師 加藤啓子氏 (絵本いろいろの会主宰、出版社絵本普及員)、南田安紀子氏 (保育士・幼稚園教諭)、
奥村仁美氏 (小学校教諭・幼稚園教諭)

スタッフ 松尾純代 (大阪マイペンライ、保育士)、増田和生 (大阪マイペンライ)

同行 SVAタイランド 松尾久美氏ほかスタッフ

日程 10月13日(月) 関空深夜発、バンコク着・発 スコタイ空港着

移動、研修事業打合せ

14日(火) ターソンヤン郡の保育園・小学校視察、研修準備

15日(水)～17日(金) 研修

18日(土) 研修事業についての反省会、バンコクへ移動

19日(日) バンコク・スラム地区見学、SVAスタッフとのまとめの会議で意見交換

バンコク深夜発

20日(月) 関空早朝着

(4) モニタリングツアーの実施

日程 2009年2月4日(水)～2月10日(火) 早朝

目的 研修事業実施後のバンコク及びターク県ターソンヤン郡の村の保育園の保育内容などの効果の検証、
設置機器や教材の活用状況の視察

参加者 国松祐子 氏 (子ども情報研究センタースタッフ)

松尾純代 (大阪マイペンライ、保育士)

日程 2月 4日(水) 関空発TG623 ターソンヤン郡着

モニタリングについての現地スタッフとの打ち合わせ

5日(木) 研修参加者との意見交換会議、ターソンヤン郡の保育所等視察

6日(金) ビルマ人移住労働者居住地区の学校など視察

7日(土) クロントイ事務所、研修参加者との意見交換会議、保育所視察

8日(日) バンコクのスラムの保育園視察、シーカーアジア財団の活動視察など

9日(月) シーカーアジア財団のスタッフと5月と10月の研修事業についての総括会議

10日(火) 早朝帰国

(2) 「国際ボランティア貯金」 寄付金による2009年度事業の経過について

① 「国際ボランティア貯金配分金」 への申請の結果について

配分された総額 6,934,000円

内訳 「少数民族の初等教育整備のための学生寮建設及び保育園の改修〔タイ〕」

3,405,000円 (項目別内訳:別紙)

「スラム地区、少数民族居住地区の保育園・図書館スタッフのスキルアップ研修の実施及び保育・幼
児教育センターの設置〔タイ〕」

3,529,000円 (項目別内訳:別紙)

② 「少数民族の初等教育整備のための学生寮建設及び保育園の改修〔タイ〕」

ア、保育園の改修

・改修保育所の選定

現地のシーカーアジア財団と団体と協議し、同財団の事前調査結果と当会の現地調査に基づき、より劣悪な環境にあるターソンヤン郡メーソーン地区の3カ所の保育園について選定し、改修することを決定した。この決定について、地元の行政事務所(オーボートー)と協議し、了承を得るとともに、協力を依頼した。

・改修保育所

ボボキー保育所(場所:ターソンヤン郡メーソーン地区)

2009年12月に改修が完成

1階建て(9×6=54㎡、2部屋、倉庫) 保育士 1名、子どもの定員 28名

セークラ保育所(場所:ターソンヤン郡メーソーン地区)

2009年10月に改修が完成

1階建て(9×6=54㎡、2部屋、倉庫) 保育士 1名、子どもの定員 25名

フェイマノック保育所（場所：ターソンヤン郡メーソーン地区）

2009年12月に改修が完成

1階建て（9×6＝54㎡、2部屋、倉庫） 保育士 1名、子どもの定員 34名

イ、学生寮の建設

・学生寮建設の場所

シーカーアジア財団の事前調査に基づき、学生寮の必要性が高く、現在の寮がきわめて劣悪な環境にある学校の学生寮を建設することとした。

ターソンヤン郡 チュムチョンバーンターソンヤン幼稚園・小・中学校

・学生寮の概要

定員： 60人

建物の構造 2階建てコンクリート造り

面積：6×14m 84㎡

部屋数：1階1部屋、2階2部屋（先生用の個室あり）

完成・供用開始 2009年10月

開所式 2009年12月15日

ウ、スタッフの活動内容

・事前調査および選定、設計・機材調達等の事前協議 平成21年5月

日程 2009年5月2日（土）～7日（木）

目的 事前調査および学生寮の建設、改修保育所決定のための現地住民・機関との調整
建設の事前調整、現地での設計、資材調達準備

派遣スタッフ 増田和生、稲葉貞夫（大阪マイペンライ）

・完成後の視察、運営状況等調査（モニタリングの実施） 平成21年12月

日程 2009年12月14日（月）～12月19日（土）

目的 学生寮の完成、保育園改修後の運営状況と今後のフォローアップについての協議

派遣スタッフ 増田和生、藤井昌代（大阪マイペンライ）

③「スラム地区、少数民族居住地区の保育園・図書館スタッフのスキルアップ研修の実施及び保育・幼児教育センターの設置〔タイ〕」

ア、第1回バンコク研修事業

日程

8月31日（月） 関西空港発 スタッフ4名出発

バンコク到着 スラムの見学と事業説明

研修についての財団スタッフとの最終打ち合わせ及び準備

9月1日（火）～2日（水） シーカーアジア財団スタッフを対象とした研修

テーマ 「子どもの育ち」「手作りおもちゃ」「絵本を楽しもう」

研修対象：シーカ・アジア財団スタッフ 参加人数；21人

3日（木） 財団スタッフ及びバンコクの教育関係者を対象とした研修

テーマ 「絵本を読み合うということ」

シーカーアジア財団（20人）と大学、出版関係者（42人）

4日（金）～5日（土） 一般公募による保育教育者を対象とした研修

テーマ 「子どもの育ち」「手作りおもちゃ」「絵本を楽しもう」「集団遊び」

バンコク市内保育園、幼稚園から公募で参加者 参加者；82人

6日（日） 「研修・教材センター」開設に向けた最終準備および打ち合わせ

「研修・教材センター」開設式

スタッフ2名 深夜便で帰国

7日（月）～9日（水） スタッフ2名による現地状況の調査、スラム・農村等の視察（予定）

9日（水） スタッフ2名 深夜便で帰国

派遣者の氏名

蔵川晴之 （わかくさ保育園・保育士）

廣田峰子 （こども情報研究センター・保育士）

加藤啓子 （絵本出版社絵本普及員）

松尾純代 （帝塚山大学教員・保育士）

村中李衣 （児童文学教授）

増田和生、稲葉貞夫（大阪マイペンライ）

イ、研修・教材開発センターの設置

場所 バンコク都 クロントイ・スラム シーカー・アジア財団敷地内

設備・備品の内容

センターの面積 ：33㎡（6×5.5m）

設備：家具等を今後、補充していく

図書：参考絵本330冊、参考書144冊

教材：布絵本10冊、エプロンシアター30セット、手作りおもちゃ20種、素材（フェルト、刺繍糸など）を備え、今後補充していく。

パソコン：今後購入し設置する予定。

ウェブ：今後作成予定。

その他：ダンボールの面展台などを備えている。

運営方式

シーカー・アジア財団が管理運営し、当会の招聘研修（2009年7月4日～18日に大阪で実施）に参加した同財団のスタッフ2名がセンター担当として、運営に当たる。

開所式・供用の開始

2009年9月6日 午前10時

出席 シーカー・アジア財団 アルニー事務局長

アジア保育教育交流推進実行委員会 稲葉事務局長

来賓 駐タイ日本大使館 元林 一等書記官

ウ、第2回ターソンヤン郡研修事業

内容：ターソンヤン郡の保育園・保育士を対象とした「手作りおもちゃ」「集団遊び」「絵本の読み聞かせ」「手作り絵本」などについての研修

日程

- 2月17日（水）関西空港発 スタッフ4名出発
バンコク到着 ターク県に向けて移動
研修についての財団スタッフとの合わせ
- 18日（木）現地事情についての研修・視察
研修についての最終打合せ・準備
- 19日（金）研修「手作りおもちゃ、集団遊び」「子どもの育ちの保障」
研修参加者 65名
（保育園・幼稚園関係者 38名、学校関係者 20名、行政その他関係者 7名）
- 20日（土）研修「絵本の読み方、楽しみ方」「手作り絵本」
研修参加者 65名
- 21日（日）研修・討議「グループでの話し合い」
研修参加者 65名
バンコクへ移動
- 22日（月）バンコクのスラム地区視察
- 23日（火）教材開発・研修センター登録者の集いでの意見交換
- 24日（水）ターク県での研修の総括会議 事業全体のまとめの会議ほか
バンコク発 深夜便で帰国

派遣者の氏名

稲田祥子	（わかくさ保育園・保育士）	二葉智代	（こども情報研究センター・保育士）
加藤啓子	（絵本出版社絵本普及員）	松尾純代	（帝塚山大学教員・保育士）
増田和生	（大阪マイペンライ）		

（3）2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の新たな実施について

① 2010年度における継続した事業の実施を目指して、2009年9月に「国際ボランティア貯金寄附金の配分」申請書を「郵便貯金・簡易生命保険管理機構」に提出しましたが、2010年3月12日、配分を実施する決定が届きました。

配分額、援助事業名、援助実施地域ほかは以下のとおり

配分額 2,536,000円

事業名 スラム地区の保育園での公開保育、保育園・図書館スタッフ研修及び住民の意識向上目的の講習会の実施

実施地域 タイ・バンコク市内15箇所の保育所、図書館

② 事業計画「バンコクのスラムにおける保育者、子ども、保護者を対象とした研修事業」

ア、目的

タイは東南アジアの中で経済発展が目覚ましい国の一つであるが、都市と農村の格差が大きく、また大都市においてもスラム地区が存在しており、経済的な理由や劣悪な子育て環境の中で子どもたちの教育の機会がうばわれています。

当会は、これまで大阪で子育てに関わる活動を展開してきた経験を生かし、大国内のスラム地区および少数民族の居住地の保育園および図書館における保育・教育・図書館事業の支援のため、現地NGOと連携し、大阪への招聘研修の実施など現地NGOスタッフのスキルアップを図る活動を展開してきました。

また、2008年度、2009年度には、国際ボランティア貯金の寄付金配分により、バンコクのスラム地区31箇所の保育園や図書館スタッフを対象にスタッフのスキルアップを図る研修を開催してきました。これらの研修を通じて、ともに遊ぶことの重要性を実感しながらも、どのように子どもに遊びを提案すればいいのか、その意義を保護者に伝えればいいのか分からないと悩んでいる保育園・図書館スタッフがあり、実際の子どもの対象に遊びを展開する様子を見ることで（公開保育）具体的に理解できるのではないかと各園での公開保育の希望がでていました。また、保護者に親子で心を通い合わせ、遊ぶ意義を伝えるものの、なかなか理解してもらえないという悩みも出されており、「親子で遊ぶ」研修を実施してほしいと要求がありました。

このような状況を受けて、今回の研修事業においては、1ヶ所に集まる保育士や図書館スタッフだけの研修ではなく、現地に出向き、子どもや保護者たちとの保育を公開して実施することをめざし、より実践的な手法で研修を実施し、保育園・図書館スタッフの実践的なスキルアップを目指すこととしました。

イ、現地の状況

2年度にわたる研修会の実施により、1. 子どもとともに遊びを楽しむことの快さ、2. 身の回りにある廃材等が子どもにとってとても大事な教材になることの重要性、3. 自分たちで絵本を作る、創造するすばらしさなどを実感する保育園・図書館スタッフが増し、保育園・図書館の遊びが変わってきた。これは2回の研修会に対する評価からも現れている。

保育者自身が重要性を体感する機会になったものの、それを子どもに、あるいは保護者にどのようにアプローチすればよいのか悩んでいる保育園・図書館スタッフがあり、子どもや親子向けの公開保育のニーズが上がっている。

ウ、全体の事業

2年間のバンコクのスラム地区を対象とした研修の積みあげとして、31箇所の保育園、スラム地区内図書館で、子ども対象、親子対象とした遊び（手作りおもちゃ・からだを使った遊び・絵本）の公開保育を開催し、子どもへの関わり方を直接指導するとともに、親と子どもがともに遊びや絵本を楽しむことを実感する機会を提供し、その指導現場を保育園・図書館スタッフに見学してもらうことを通じて、今後の具体的な子ども指導・親指導の充実を図ります。

あわせて、スラム地域の子育ちを保護者ととともに地域住民が支えるために、自らを好きだと感じる子どもを育てるための講演会をスラム地域住民委員会とともに開催します。

(1) 「出前：ともに遊ぶ公開保育」「出前：親子あそび公開保育」

保育園・図書館の子どもを対象とした遊びの実践研修、保育園・図書館に通う親子・親を対象とした遊びの研修をバンコク市内のスラム地区の保育園、図書館から選考して、開催する。

各出前の公開保育は、子どもを対象としたもの、親子を対象としたもの、子どもの年齢、保育園や図書館においての従来の活動、子どもや親の興味などを、保育園・図書館スタッフと調整して実施する。

具体的な遊びのテーマは、手作りおもちゃを作ってあそぶ、からだを動かして遊ぶ、絵本を楽しむなどなど、2年間の研修の中で実践してきた内容を土台に組み立てる。

公開保育の後には、当該保育園・図書館のスタッフとともに、見学者の他の保育園・図書館のスタッフとともに、遊びの進め方、子どもへの対応、親への対応などについて意見交換を行う。

(2) 保育園・図書館スタッフを対象とした「公開保育実践研修」

「出前：ともに遊ぶ公開保育」「出前：親子遊び公開保育」を実施した保育園・図書館で、それぞれの所のスタッフと、見学した他の保育園・図書館のスタッフで研修会を実施する。内容は「子どもや親子へのアプローチの方法について」「子どもや親子へのかかわり、指導者の対応」などをテーマに意見交換を行い自らの保育実践に行かず実践的な研修とする。

(3) 住民委員会と連携した講演会

子どもの育ちは、保護者と保育園や図書館スタッフと地域とが力をあわせることで豊かになっていく。そこで地域住民を対象とした子育て講演会を実施する。

地域住民対象講演会のテーマ “自らを誇れる子どもに育てたい”

エ、具体的な事業

(1) 事業の着手時期・完了予定時期 平成22年4月～平成22年3月

(2) 事業の対象地域

タイ バンコク都内 スラム地区 10ヶ所 公募し、保育園あるいは図書館を選定する。

(3) 援助対象者・援助対象者数

2年間の研修事業に参加した、スラム地区55カ所の保育園・図書館のうち、公募により①を4ヶ所、②を6ヶ所、③を10ヶ所

① 「出前：ともに遊ぶ公開保育」（子ども約30人）×4ヶ所

② 「出前：親子遊び公開保育」（親子約30組）×6ヶ所

③ 「公開保育実践研修会」（各10人位×10ヶ所）：上記①および②を見学参加した保育園・図書館スタッフ

④ 「スラム地区住民対象講演会」 約 200 人

(4) ①「出前：ともにあそぶ公開保育」、②「出前：親子遊び公開保育」、③「公開保育実践研修会」④

「スラム地区住民対象講演会」の公募の方法

2008 年度・2009 年度の研修参加者や研修・教材開発センター会員のニーズを受け止め、開催保育園・図書館を選定する。

子どもにどのようにアプローチすればいいのか分からないなどの悩みや意見が出ている保育園・図書館から、子どもを対象とした①「出前：ともにあそぶ公開保育」、親子を対象とした②「出前：親子遊び公開保育」を実施する保育園・図書館を事前に公募する。

③「公開保育実践研修会」の参加者として、①②を見学する保育園・図書館スタッフを、31 箇所のスラムの保育園、また図書館スタッフから公募する。

(5) 「出前：ともにあそぶ公開保育」

前期 2 ヶ所、後期 2 ヶ所で実施し、保育園で講師が子どもや親の状況について事前把握しながら、子どもとのあそびを通じた保育を実践する。

(6) 「出前：親子遊び公開保育」

前期 4 ヶ所、後期 2 ヶ所で実施し、保育園で講師が事前に子どもや親の状況について事前に把握しながら、参加希望した保護者とともに、子どもあそびを通じた保育実践を行う。

(7) 「公開保育実践研修会」

事前に公募した保育園・図書館のスタッフが上記の公開保育の実践を見学し、その後が実践について意見を出し合い学ぶ場とする。

(8) 「スラム地区住民対象講演会」

スラム地区住民と連携し、事前に広報活動を行って参加を呼びかけ、子育てをテーマとした講演会を開催する。

(9) 講師・スタッフの派遣

5 月 保育士または幼稚園教諭合わせて、3 人

運営スタッフ 1 人

9 月 保育士または幼稚園教諭合わせて、3 人

講演会講師：大阪市あいりん地区 わかくさ保育園園長（予定）

運営スタッフ 1 人

(10) 公開保育、公開保育実践研修、講演会のための事前準備

保育所の公募、研修参加者の公募、資料作成、教材準備等

講演会の事前準備、事前の呼びかけ

(11) モニタリング

2 回にわたる研修事業について、保育園・図書館での実践の状況や、保育園などと親とのかかわり、子どもと親とのかかわりなどについて、その実態について調査検証するためスタッフを派遣する。

実施時期 平成 23 年 3 月 派遣スタッフ 保育士 2 名

オ、具体的な日程

(ア) 第 1 回 (5 月) 研修事業

①「出前：ともにあそぶ公開保育」：2 ヶ所 ②「親子遊び公開保育」：4 ヶ所

③「公開保育実践研修会」：6 ヶ所

5 月 1 日目 (火) クロントイスラム・チュワパーンスラム視察(スラムの実情・課題を学ぶ)

2 日目 (水) シーカーアジア財団にてオリエンテーションおよび研修の準備作業

(タイにおける子育て・子育ての課題を学ぶ)

3 日目 (木) 「出前：ともにあそぶ公開保育」：1 ヶ所目

「公開保育実践研修会」：1 ヶ所目

保育園の場合(午前)

9：00～保育園に出向き、子どもの状況を引き継ぐ

10：00～ ①「出前：ともにあそぶ公開保育」

子どもと一緒に遊びを楽しむ

11：00～ ③「公開保育実践研修会」

実践者の意図を学び、見学者も意見を出し合い互いに学びあう場

図書館の場合(午後)

14：00～図書館に出向き、子どもの引継ぎをする

15：00～ ①「出前：ともにあそぶ公開保育」

子どもと一緒に遊びを楽しむ

16：00～ ③「公開保育実践研修会」

実践者の遊びの展開方法を学び、見学者も意見を出し合い互いに学びあう場

4 日目 (金) 「出前：ともにあそぶ公開保育」：2 ヶ所目

「公開保育実践研修会」：2 ヶ所目

保育園の場合(午前)

図書館の場合(午後)

5日目(土)

午前 「親子遊び公開保育」：1ヶ所目

「公開保育実践研修会」：3ヶ所目

9：00～保育園・図書館に出向き、子どもや保護者状況を引き継ぐ

10：00～②「親子遊び公開保育」 親子で遊びを楽しむ

11：00～③「公開保育実践研修会」

公開保育見学参加の保育園・図書館スタッフと実践研修会(希望する保護者があれば参加可)

午後 「親子遊び公開保育」：2ヶ所目

「公開保育実践研修会」：4ヶ所目

13：00～保育園・図書館に出向き、子どもや保護者状況を引き継ぐ

14：00～②「親子遊び公開保育」 親子で遊びを楽しむ

15：00～③「公開保育実践研修会」

公開保育見学参加の保育園・図書館スタッフと実践研修会(希望する保護者があれば参加可)

6日目(日)

午前 「親子遊び公開保育」：3ヶ所目

「公開保育実践研修会」：5ヶ所目

午後 「親子遊び公開保育」：4ヶ所目

「公開保育実践研修会」：6ヶ所目

7日目(月)

4日間の実践総括会議

公開保育参加の保育園・図書館スタッフと総会会議

(イ) 第2回(2月) 研修事業

①「出前：ともにあそぶ公開保育」：2ヶ所

②「親子遊び公開保育」：2ヶ所

③「公開保育実践研修会」：4ヶ所

平成23年2月

1日目(火) クロントイスラム・チュワパンスラム視察(スラムの実情・課題を学ぶ)

2日目(水) シーカーアジア財団にてオリエンテーションおよび研修の準備作業

(タイにおける子育て・子育での課題を学ぶ)

3日目(木)「出前：ともにあそぶ公開保育」：3ヶ所目

「公開保育実践研修会」：7ヶ所目

保育園の場合(午前)

図書館の場合(午後)

4日目(金) 「出前：ともにあそぶ公開保育」：4ヶ所目

「公開保育実践研修会」：8ヶ所目

保育園の場合(午前) 図書館の場合(午後)

5日目(土)

午前 「親子遊び公開保育」：5ヶ所目

「公開保育実践研修会」：9ヶ所目

午後 「親子遊び公開保育」：6ヶ所目

「公開保育実践研修会」：10ヶ所目

6日目(日)

④「スラム地区住民対象講演会」

大阪市西成区のあいりん地区で保育園事業を長年展開されてきたわかくさ保育園園長に講演を依頼する。

13：00～15：00 講演会

15：00～16：30 交流会

7日目(月)

3日間の実践と講演会の総括会議

公開保育参加の保育園・図書館スタッフと総会会議

講演会参加の住民委員会のメンバーと交流会

(ウ) モニタリング

時期 平成23年3月4日(金)～7日(日)

5月・2月に実施した保育園・図書館を視察、研修参加者と交流会

10 その他

第2号議案 2009年度決算と2010年度予算案

2009年度一般会計決算報告(2009年4月1日～2010年3月31日)

収入の部

項目	内 訳	本年度収入額	昨年度収入額
会費	個人会費	162,000	234,000
	団体会費	490,000	510,000
助成金	助成金	0	0
事業収入	セミナー参加費	150,000	150,000
	招聘研修参加費	130,000	155,000
	物品売上	1,256,000	1,142,620
	ツアー参加費	1,620,000	0
雑収	雑収	500,073	1,098
	寄付	725,626	405,000
	当年度収入小計	5,003,699	2,597,718
繰入金	繰入金	60,018	888,187
繰越金	繰越金	76,389	637,998
	収入合計	5,170,106	4,123,903

支出の部

項目	内 訳	本年度支出見込額	昨年度支出額
運営費	総会費	173,110	51,600
	通信費	174,960	242,232
	需要費	30,742	38,472
	事務局費	0	0
事業費	招聘研修	888,613	1,228,341
	子どもスタディツアー	0	231,112
	絵本プロジェクト	9,345	0
	交流費	0	49,452
	スタディツアー	1,553,588	170,000
	クラフト事業費	708,172	719,478
雑費	雑費	510,830	2,370
	当年度支出小計	4,049,360	2,733,057
繰出金	繰出金	1,010,626	1,314,187
	支出合計	5,059,986	4,047,244

次年度繰越金 110120円

2010年度一般会計予算案(2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部

項目	内 訳	本年度予算額	昨年度予算額
会費	個人会費	200,000	260,000
	団体会費	500,000	550,000
助成金	助成金	0	0
事業収入	セミナー参加費	150,000	150,000
	招聘研修参加費	150,000	180,000
	物品売上	1,300,000	1,520,000
	ツアー参加費	1,700,000	0
雑収	雑収	510,000	1,000
	寄付	400,000	400,000
	小計	4,910,000	3,061,000

繰入金	繰入金	150,000	1,000,000
繰越金	繰越金	110,120	76,389
	収入合計	5,170,120	4,137,389

支出の部

項目	内 訳	本年度予算額	昨年度予算額
運営費	総会費	60,000	60,000
	通信費	200,000	230,000
	需要費	50,000	35,000
	事務局費	10,000	5,000
	事業費	招聘研修	1,100,000
	子どもスタディツアー	50,000	100,000
	絵本プロジェクト	200,000	200,000
	交流費	50,000	150,000
	スタディツアー	1,700,000	50,000
	クラフト事業費	700,000	650,000
雑費	雑費	510,000	0
	小計	4,630,000	2,730,000
繰出金	繰出金	500,000	1,400,000
予備費	予備費	40,120	7,389
	支出合計	5,170,120	4,137,389

サワディ基金収支報告書(2009年4月1日～2010年3月31日)

収 入

項目	内 訳	金 額 (円)	備 考
繰越金		2,075,201	
寄付	大阪府教組よりの寄付	100,000	
その他	利子	1572	
合計		2176773	

支 出

項目	内 訳	金 額 (円)	備 考
事業費	奨学金	0	
繰出金		500,000	
繰越金		1676773	
合計		2176773	

サワディ基金収支予算書(2010年4月1日～2011年3月31日)

収 入

項目	内 訳	金 額 (円)	備 考
繰越金		1676773	
寄付		100,000	
その他	利子	4,000	
合計		1778773	

支 出

項目	内 訳	金 額 (円)	備 考
事業費	奨学金	0	

繰出金	国際ボランティア貯金事業への繰り出し	500000	
繰越金		1578773	
合計		1278773	

サワディ基金会計報告(実行委員会で報告予定) 年度 月現在 単位:パーツ

項目	収入	支出	合計
2008年度末残金			431815.03
2009年奨学金			
2009年度利子			
2010年 月現在			

絵本プロジェクト収支報告書(2009年4月1日~2010年3月31日)

収入

項目	内 訳	金額(円)	備考
繰越金		134614	
一般会計よりの繰入金		0	
利子	利子外	86	
合計		134700	

支出

項目	内 訳	金額(円)	備考
事業費		0	
ボランティアグループへの補助	3万円×5カ所	0	
繰越金		134700	
合計		134700	

絵本プロジェクト収支予算書(2010年4月1日~2011年3月31日)

収入

項目	内 訳	金額(円)	備考
繰越金		134700	
一般会計よりの繰入金		100000	
利子	利子外	100	
合計		234800	

支出

項目	内 訳	金額(円)	備考
事業費		50000	
ボランティアグループへの補助	3万円×5カ所	150,000	
繰越金		34800	
合計		234800	

会計監査報告

2010年4月14日

アジア保育教育交流推進実行委員会
(大阪マイペンライ)
代表 森 みどり 様

会計監査
田村 賢一 (印)
山下 裕子 (印)

2009年度大阪マイペンライ一般会計決算の監査結果について

大阪マイペンライの2009年度一般会計について2010年4月14日に監査した結果について、以下のとおり報告します。

記

- 1 会計期間 2009年4月1日から2010年3月31日
- 2 監査の資料
 - ① 支出・収入命令書つづり
 - ② 金銭出納一覧表
 - ③ 項目別支出・収入額一覧
 - ④ 預金通帳・郵便振替通知書
- 3 監査の結果
上記の期間における収入・支出の執行、出納など事務管理は概ね適切になされていると認めます。

以上

第3号議案 2010年度役員体制 (略)

役 職	名 前	所 属
代 表	森 み どり	個 人
副 代 表	大 西 智 子(新)	大 阪 府 教 職 員 組 合
副 代 表	高 橋 定	部 落 解 放 同 盟 大 阪 府 連 合 会
副 代 表	寺 内 信 人(新)	自 治 労 大 阪 府 本 部
事 務 局 長	稲 葉 貞 夫	個 人
事 務 局 次 長	塩 野 祐 子(新)	大 阪 府 教 職 員 組 合
事 務 局 次 長	松 尾 純 代	個 人
事 務 局 次 長	増 田 和 生	個 人
兼 会 計 幹 事	松 尾 純 代	個 人
幹 事	竹 野 起 代	自 治 労 大 阪 府 本 部 保 育 部 会
幹 事	中 島 啓 治	自 治 労 大 阪 市 職 民 生 支 部
会 計 監 査	田 村 賢 一	カンボジアに絵本を送る富田林連絡会
会 計 監 査	山 下 裕 子	子 ども 情 報 研 究 セ ン タ ー

運営委員 前川 実、中島美智子、山下淳子、田中寿美子、中島仁美（新）、松尾久美（休会中）
実務分担（★は責任者）

会計処理 ★ 松尾純代、稲葉貞夫 通信発行 ★ 稲葉貞夫、松尾純代、
会議資料作成 ★ 稲葉貞夫、松尾純代 スタディツアー ★ 高橋定、松尾純代、稲葉貞夫
招聘研修・セミナー ★ 松尾純代、高橋定、大西智子、寺内信人、稲葉貞夫
絵本プロジェクト ★ 中島美智子、田中寿美子、山下淳子
クラフト販売 ★ 中島美智子、松尾純代、竹野起代 子どもスタディツアー ★ 松尾純代、中島美智子
退任する役員：小栢幸江さん、小田晃之さん

第4号議案 「国際ボランティア貯金」寄附金による事業にかかる特別会計の設置について

2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業「スラム地区の保育園での公開保育、保育園・図書館スタッフ研修及び住民の意識向上目的の講習会の実施」の新たな実施にともない、特別会計を設置します。

収入

配分金	配分金	2536000
	サフディ基金からの繰入れ	500000
	寄附	300000
	合計	3336000

支出

日本人派遣費	日本人専門家航空運賃	840000
	日本人専門家滞在費	180000
	日本人専門家日当	157000
	現地交通費	37000
事前調整費	ガソリン代	81000
	資料作成費	32000
	現地事前調整スタッフ人件費	98000
	施設使用料・設営費	87000
研修費	ガソリン代	26000
	資料作成費	105000
	現地運営補助スタッフ人件費	29000
	公開保育教材費	262000
	子ども保育用おもちゃ購入費	105000
	研修用配布用絵本購入費	131000
	研修用参考図書購入費	87000
	通訳人件費	12000
住民講演会費	施設使用料・設営費	44000
	ガソリン代	17000
	現地スタッフ運営補助人件費	9000
	資料作成費	105000
モニタリング	反省会参加者日当	9000
	施設使用料	9000
	ガソリン代	26000
	通訳人件費	4000
	小計	2536000
	予備費（自己資金）	800000
	合計	3336000

[配分金の項目と金額]	合計	2 5 3 6 千円	
日本人専門家航空運賃（日本一タイ：4回）			4 6 6 千円
日本人専門家航空運賃（日本一タイ：5回）			2 6 7 千円
日本人専門家航空運賃（日本一タイ：2回）			1 0 7 千円
日本人専門家滞在（62人日）			1 8 0 千円
日本人専門家日当（54人日）			1 5 7 千円
現地交通費（ガソリン代：7日×2回）			3 7 千円
現地スタッフによる研修事業の事前調整・準備経費・ガソリン代（31か所）			8 1 千円
現地スタッフによる研修事業の事前調整・準備経費・資料作成費（通信費を除く：31か所）			3 2 千円
現地事前調整スタッフ人件費（2人×7日×12か月）			9 8 千円
施設使用料・設営費（10か所）			8 7 千円
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・ガソリン代（10か所）			2 6 千円
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・資料作成費（40人×10か所）			1 0 5 千円
現地運営補助スタッフ人件費（10人×10か所）			2 9 千円
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・公開保育教材費（10か所）			2 6 2 千円
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・子ども保育用おもちゃ購入費（一式）			1 0 5 千円
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・研修用配布用絵本購入費（10か所）			1 3 1 千円
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・研修用参考図書購入費（10か所）			8 7 千円
通訳人件費（7日×2回）			1 2 千円
資料翻訳費（25枚）			4 4 千円
住民講演会用施設使用料・設営費（1か所）			4 4 千円
住民講演会用ガソリン代（1回）			1 7 千円
現地スタッフ運営補助人件費（30人）			9 千円
住民講演会用資料作成費（200人）			1 0 5 千円
モニタリング・反省会経費（参加者日当：30人）			9 千円
モニタリング・反省会経費（施設使用料：1か所）			9 千円
モニタリング・反省会経費（ガソリン代：10か所）			2 6 千円
モニタリング・反省会経費（通訳人件費：5日）			4 千円

※ 航空運賃には、査証取得手数料等の諸経費を含まない